

(生活文を書く) 普段着の作文を!

ニュージャージー補修授業校

★保護者の皆様へ 普段の作文の書き方をお知らせします。こんな場合に有効です。

作文の宿題を書くとき。子ども新聞や雑誌や新聞に投稿するとき。いつでもどこでも書くことが特徴です。また、校内作品コンクール用の作文を書くときにも有効です。

保護者の皆様は、「第二の補習校の先生」です。作文を書く技(コツ)―「型」を子ども達に教えてやってください。

【何を書くか】 子ども達の生活の中のあるできごと―「見たこと」「聞いたこと」「したこと」を書く。

【どのように書くか】 ・あるできごとを書く。理解したことや新たに分かったことを書く。十五分のドラマのように書く。場面を切り取る。ストーリー性(誰が、どうして、そうなった)を持って書く。

【そのために】、文の構成(組み立て)を考える。

①題

②はじめ↓会話」「や音や様子の描写から始める。読み手に興味を持たせる効果がある。

③中↓具体的な例を二つ書く。場面を切り取り、会話」「を少なくとも、四〜五個入れる。具体的でわかりやすくなる。ストーリー性も出る。ドラマのようになり文章が生き生きする。

④まとめ↓②の具体的な例(事実)の二つに共通すること。二つに対する気持ちや考えを書く。

⑤結び↓今後、ぼく(私は)どうするのか、どうしたいかを書く。

【わかりやすい作文を書くために】↓読解指導(何が書いてあるか読み取る)指導と裏表の関係です。

・長い文ではなく、短い文を書いて寄せ集める。

「私は、朝五時に起きて歯をみがいた。」↓私は朝五時に起きた。「+」歯をみがいた。「

・一つの文に二つの内容を書く。

・主語と述語をはっきりさせる。(…はくだ。)(○○も××だ。)(△△が□□だ。)

・句点をはっきり打つ。句点で意味が変わる。

「黒い、目のきれいな女の子が遊んでいた。」

「黒い目の、きれいな女の子が遊んでいた。」

「黒い目のきれいな、女の子が遊んでいた。」

【書く量】(普通原稿用紙一枚といえれば四百字詰め原稿用紙一枚のことです。)

原稿用紙一枚↓二枚(低学年) ↓原稿用紙三枚↓四枚(中学年) ↓原稿用紙四枚↓五枚(高学年・中等部)

【書く順番】 特に決まっていますが、次のように書くときやすいです。

1, 中を書く。(具体的な例や話を二つ書く)

2, まとめを書く。(二つの話に対する気持ちを書く)

3, 結びを書く。(これからやりたいことやどうしたいかを書く)

4, はじめを書く。(会話や音や様子から書く)

5, 題は最後に書く。(題を最後に書くという作家も多いそうです)

【上達のコツは右のことを参考に書いてみる】

量の上では水泳の練習にはなりません。実際に海や川やプールに入って泳ぐ中でこそ上達するのです。作文も同じです。

次の例を参考にして、生活文を書いてみましょう。(原稿用紙一枚です。二枚書くなら「例」を二倍にします。)

ぼくの父

四年 山川 勇一

ぼくの父は、長距離トラックの運転手をして
います。

きのう、大阪から帰ってきました。かまぼこ
工場に、かまぼこの原料の「すり身」を運んだの
です。

今日は、かまぼこ工場でできたかまぼこを、
大阪の市場に運んで行きます。

大阪だけでなく、青森や石川、島根など、
いろいろな所へ、魚やくだ物など、いろいろな物
を運んで行ったり、運んできたりします。

助手の人と交代で夜中も休まず走ります。
だから疲れて帰って来ます。でも、ぼくと弟に
は、必ずおみやげを買ってくれます。

ぼくの父は、とても働き者です。そして、優
しい人です。

ぼくも、父のように、大きくなったら働き者
で優しい、立派な運転手になりたいです。

【文章構成】(文章の組み立て)を説
明します。以下の通り書くと、生活文が
書けます。

短い生活作文であれば、

↑内容をずばりと書くのも、一つの
方法です。

↑例(事実)は二つくらいにします。

例(事実) その一です。

↑ここに会話を(数回)「」書きます。

すると、様子がよく分かります。

↑例(事実) その二です。

↑ここにも会話を(数回)「」書きます。
すると、場面が生き生きと描写され
ます。

↑二つの例(事実)をまとめて自分の考え
や意見を書きます。

↑二つの例(事実)から自分はどうするの
かを書いて終わります。